

2024年 9 月20日

No. 6 4 7

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
ante11@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 森 口 克 彦
印刷所 (株) 第一印刷

困窮する畜産農家の支援に向けた農林水産大臣要望活動



写真中央 要請書を受け取る坂本農林水産大臣（右）と管野 J A 福島中央会会長（左）

J A 福島中央会と福島県の畜産関係団体は 8 月22日、飼料価格の高止まりなどで困窮する畜産農家の経営支援に向けた要請のため農林水産省を訪問し、坂本哲志農林水産大臣に要請書を手渡しました。

J A 福島中央会の管野啓二会長からは、経営の悪化により廃業を余儀なくされる農家が出ているなど、福島県の畜産業が消滅してしまう可能性があり、かつてないほどの危機的状況にあると畜産農家の窮状を伝えました。

そして、畜産農家の経営継続に向けた緊急支援として、飼料価格対策と和牛経営の安定対策、和牛肉の更なる需要喚起と牛乳・乳製品の消費拡大運動の展開などを要請しました。

さらには、持続可能な畜産経営に向けた支援として、畜種ごとに実状を踏まえた事業予算の確保と各種取組の強化を図るよう求めました。

また、各団体の代表からは、生産資材費が嵩み続けることによって利益が出ず再生産に回らないこと、先行きが不透明なため安心して後継者に経営をバトンタッチできないこと、経営赤字が続く現状では担い手が確保できないこと

など、畜産を取り巻く厳しい状況を訴え、緊急支援を要請しました。

坂本農相は、地元熊本県の畜産農家から受けている要請など踏まえた現状認識を丁寧に説明するとともに「皆さんの要請を踏まえあらゆる政策を導入してコスト対策をしっかり講じていく。また、交付金や基金制度などによる価格対策の継続、国産飼料の生産拡大支援等、経営の安定に向けた取組を支援していく」と応じられました。

(要請を行った団体) 福島県農業協同組合中央会、ふくしま未来農業協同組合、福島さくら農業協同組合、夢みなみ農業協同組合、東西しらかわ農業協同組合、会津よつば農業協同組合、福島県畜産振興協会、福島県酪農業協同組合、福島県養豚協会、福島県養鶏協会



「畜産農家経営危機突破生産者大会」の開催 ～ 政府・与党へ畜産農家の経営危機突破への支援を要請 ～

J A 福島中央会

9月7日、飼料価格高騰や子牛価格の低迷などの影響を受けている県内畜産農家の経営危機を突破し、将来を展望できる畜産・酪農経営の実現を政府・与党に働きかけるため、JA福島中央会と公益社団法人福島県畜産振興協会の主催による「畜産農家経営危機突破生産者大会」をJA福島ビルで開催した。

大会には、福島県の佐藤宏隆副知事（内堀雅雄 知事代理）、県選出与党国会議員（本人出席6名）、県内のJA、酪農協、養豚協会、養鶏協会に所属する畜産農家、農業団体関係者など約300名が参加し、経営安定対策の確保、再生産可能な適正価格の実現に向けた仕組みづくりなどを政府・与党に求める大会決議（下記・発表は福島県畜産振興協会 紺野宏会長）を満場一致で採択した。

また、大会では、和牛繁殖（JAグループ福島和牛繁殖飼育者協議会 斎藤栄一会長）、和牛肥育（JAグループ福島肉牛振興協議会 五十嵐健一会長）、酪農（県酪農協 東北酪農青年女性会議 斎藤忠義委員長）、養豚（福島県養豚協会 木野内理会長）、養鶏（福島県養鶏協会 三品清重会長）の5団体からの意見表明と、出席した県選出与党国会議員からは、それぞれが5団体からの意見表明に対する対応等が述べられ、また、JA福島中央会の管野啓二代表理事会長が各団体を代表し、政府への働きかけを求める「困窮する畜産農家の支援に向けた要請書」を自民党県連会長の亀岡偉民衆議院議員に託した。

なお、「困窮する畜産農家の支援に向けた要請書」は、福島県農業協同組合中央会 代表理事会長 管野啓二、公益社団法人 福島県畜産振興協会 会長 紺野宏、福島県酪農業協同組合 代表理事組合長 紺野宏、福島県養豚協会 会長 木野内理、福島県養鶏協会 会長 三品清重の連名で作成し、酪農、養牛、養豚、養鶏にかかわる県内の畜産農家の経営継続と飼料価格高騰への対応を求める内容となっている。

● 畜産農家経営危機突破生産者大会決議

食料や資源を安く安定的に輸入できる時代は過去のものとなり、食料や資源の多くを海外に依存する我が国では、農業の憲法とされる食料・農業・農村基本法が改正され、食料安全保障の確保に向けた取り組みが強く求められている。

一方、我が国の畜産経営をめぐるのは、飼料など営農に欠かすことのできない生産資材価格の高騰・高止まりや肉用子牛・枝肉価格の下落、牛乳・乳製品需要の低迷などが重なり、かつてない危機的な状況に直面している。

この危機を乗り越えるべく、我々畜産関係の生産者および団体は、国民に対する畜産物の安定供給をはかるため、耕畜連携の強化や自給飼料の活用拡大などを通じた国内資源の有効活用をすすめるとともに、生産性向上に向けた技術の導入を促進し、その取り組みを加速・強化する必要がある。

しかしながら、現下の情勢において畜産農家の努力のみでは限界があるため、畜産農家の経営継続に向けた緊急対策をはじめ、持続可能な経営を後押しする支援策や万全な経営安定対策の確保、再生産可能な適正価格の実現に向けた仕組みの具体化、生乳需給・酪農経営の安定に向けた畜安法の運用改善、経営安定をはかるための消費拡大対策等、食料安全保障の確保に必要な施策の拡充を政府・与党に対し強く求める。

危機的な状況にある今こそ、我々は、持続可能な畜産経営の実現を通じた食料安全保障の確保がはかれるよう、畜産関係の生産者・団体が一致団結し取り組んでいく。

以上、決議する。

令和6年9月7日

畜産農家経営危機突破生産者大会参加者一同



政府への要請依頼



大会決議を受けての頑張ろう三唱

新しい牛乳房炎ワクチンの開発に向けた取組について

福島県農業総合センター畜産研究所 酪農科

酪農家にとって、乳房炎は甚大な経済的損失につながる注意すべき病気の一つです。

乳房炎は牛の乳房に異常を及ぼすだけでなく、乳質の異常、泌乳量の減少を招くことが多く、全身症状を示し死に至るケースもあります。

また、一般的に、乳房炎の治療は抗菌剤の投与によって行われ、休薬期間中の生乳出荷制限が求められます。特に、黄色ブドウ球菌（以下、SA）による乳房炎は難治性で再発しやすく、慢性化する傾向があり、その影響は経営に重くのしかかってきます。さらに、近年、薬剤に耐性を持つ菌の出現が問題となっていることから、乳房炎への対策としてワクチンによる予防が求められています。

しかし、現在国内で承認されている乳房炎ワクチンは海外製の1剤のみであり、分娩前後に計3回の接種が必要であることから、酪農家や獣医師の負担が大きく、予防対策に取り組む上での課題となっています。

そこで、本研究所では新たな乳房炎ワクチンの開発に向け、令和3～5年度の3年間にわたり、農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門（以下、農研機構）と共同研究を実施しました。現場で使用するにあたり、抗体価が維持される期間での複数回投与によるブースト効果（追加免疫効果）を明らかにするため、農研機構が試作したワクチンを用いて、乳牛への投与試験を行いました。その結果、試作ワクチンを2回皮下投与した場合、プラセボ区（対照区）と比較して、乳汁中のSA特異的IgA・IgG抗体価が上昇し、SAに対する有効性を確認しました（図1、2）。なお、ワクチン投与前後において、牛の栄養状態及び乳質に悪影響は認められませんでした。

今回の試験結果を踏まえ、より効果的な投与方法や免疫補助剤等の検討を進めるなど、引き続き、国産乳房炎ワクチンの開発研究に取り組んでまいります。

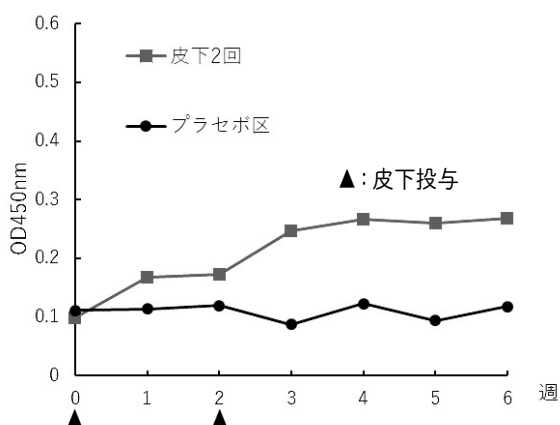


図1 乳汁中の黄色ブドウ球菌特異的 IgA 抗体価

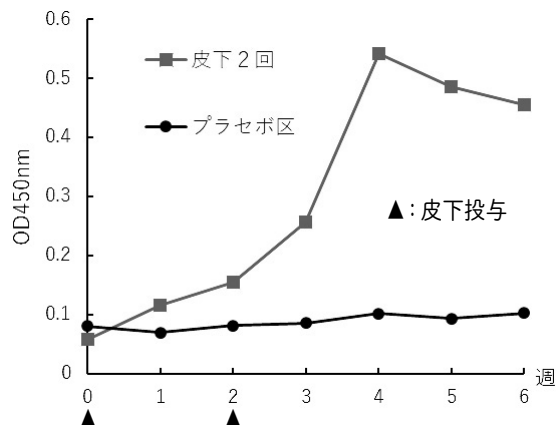


図2 乳汁中の黄色ブドウ球菌特異的 IgG 抗体価

* プラセボ区とは免疫誘導に影響のないPBS（リン酸緩衝生理食塩水）を投与した区であり、皮下に2回（0、2週目）投与した。

※ 本研究は、農林水産省国際競争力強化技術開発プロジェクト〔輸出促進のための新技術・新品種開発事業〕の助成を受けたものです。

● 品質と信頼の

くみあい配合飼料

JA全農グループ

JA全農くみあい飼料株式会社

北日本事業本部

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040 (代表)

南東北支店 福島営業所

〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

第35回福島県牛削蹄競技大会を開催 ～上位3名が東北大会へ～

福島県装蹄師会

福島県装蹄師会（中野目正明会長）主催の「第35回福島県牛削蹄競技大会」が、7月18日に二本松市岳温泉横森の（有）エム牧場岳農場で開催されました。本競技大会は、乳牛及び肉用牛の能力増進に資すると共に認定牛削蹄師の牛削蹄技術の向上と岩手県で開催される第34回東北地区牛削蹄競技大会の県予選（代表3名）を兼ねており、県内から11名の選手が出場しました。第58回全国牛削蹄競技大会優勝者である福島県装蹄師会所属、指導級認定牛削蹄師の武藤稔貴氏を審査委員長に迎え、選手たちは牛削蹄判断競技及び牛削蹄競技（単独保定部門）に臨みました。

最優秀賞には安達支部の武藤智哉さん、優秀賞は安達支

部の高野智徳さん、優良賞は安達支部の舘内将希さんが受賞し、東北大会への出場権は安達支部が独占することとなりました。

また同日、競技大会の会場となった（有）エム牧場岳農場で大会参加選手及び大会関係者を対象に牛削蹄研修会が開かれました。第38回全国牛削蹄競技大会優勝者であり、茨城県装蹄師会所属、指導級認定牛削蹄師の益子正氏を講師に迎え、牛の骨標本を用いて削蹄技術指導を行い、削蹄師の更なる技術研鑽をしました。

東北大会への出場を決めた3名は、8月29日（木）にJ A全農いわて中央家畜市場（岩手県）で開催される第34回東北地区牛削蹄競技大会での活躍が期待されます。



左から武藤審査委員長、選手の高野さん、武藤さん、舘内さん、中野目会長

肉用子牛のための「“強化”哺育専用代用乳」ができました!!



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)



アグリカレッジ福島学校祭

櫛隆祭

きりゅうさい

2024年10月20日（日）

10:00～15:00

アグリカレッジ福島

（福島県農業総合センター農業短期大学校）



@AGRI_COLLEGE_FUKUSHIMA

詳しくはinstagramで
チェック！

イベント内容

アグリカレッジ福島産新鮮な農産物の直売店、学校産農畜産物を使った模擬店
学科の紹介、卒業生による農産物の直売、農業関連企業による展示
ステージイベント、こども縁日、飲食店・キッチンカーなど 他にも盛りだくさん！

新規就農者訪問

今回、新たな畜産の担い手として楡葉町で就農した久松 快斗（ひさまつ かいと）さんを訪ね、牛飼いに取り組む日々の中で、感じていることや今後取り組みたいこと、将来目指していく経営の姿などについてインタビューをして来ました。

快斗さんは、今年の春、福島県農業総合センター農業短期大学の畜産経営学科を卒業して、祖父の渡邊 秀幸さんが経営する和牛繁殖経営牧場に就農しました。

快斗さんは、いわき市出身、平成16年生まれの20歳、今回訪問した筆者と協会職員の高橋技師は、3月まで矢吹町でともに学校生活を送っており、快斗さんと高橋技師は今も親交を深めています。



学生時代の快斗さんは、畜産経営学科での農場実習の際、丁寧に牛に接しながら繁殖牛や子牛への給餌と管理作業を行い、肥育牛の飼料の食い込みや発育もよく観察しているなど、牛飼いとしてのセンスが良いと評価されていました。農業短大の先生方も、快斗さんは就農したら、良い畜産の後継者になってくれるだろうととても期待していたところでした。

本人はまだまだ勉強中とのことでしたが、少し恥ずかしがりながらも、快く対応してくれましたので、インタビュー形式で報告していきます。

（インタビューア：協会 森口、高橋）

Q1 なぜ畜産を、それも和牛繁殖の和子牛生産で就農しようと思ったのか？

A1 小さいころから祖父の家に遊びに来ると、牛がいて、子牛にエサあげたりすることが楽しく、生き物が好きだったこともあって、将来動物を飼う仕事をしてみたいと自然と考えるようになっていました。

高校の頃、アルバイトのような形で、ここに来て

楡葉町 渡邊牧場 久松 快斗 さん



牛の世話をし、小遣いをもらったりすることも増え、やっぱり牛飼いになってみようかと真剣に考えるようになっていました。

農業短大に進学し畜産を専攻して、和牛のことを勉強しながら、季節ごとに祖父の牧場の様々な作業を手伝うようになってからは、祖父の後継ぎになることを当然のように考えていました。

和牛繁殖経営は、日々の仕事を自分で組み立てて、自由に考えてできる仕事だと思うので、自分の性分に合っています。

Q2 渡邊牧場の経営について教えてください。

A2 和牛の繁殖雌牛を30頭飼っています。そして、子牛が20頭います。その中から、数頭育成をして保留していく予定です。毎月2頭程度、本宮の子牛セリ市場へ上場しています。

Q3 快斗さんの担当を教えてください。

A3 繁殖雌牛の飼養管理全般と発情観察、セリ市場に出荷する子牛の上場前の手入れや引き運動を主に担当しています。また、体調の悪い牛を見逃さないように常に気を遣って観察しています。

発情観察は、毎朝運動場に出ている雌牛をじっくり観察し、発情かもしれない行動を見逃さないようにして、何か兆候があったら、すぐに祖父に伝えて確認してもらっています。

他には、牛舎全体のボロだし（清掃）を担当しています。

セリに上場する子牛は、1週間前から丁寧にブラシをかけて人の手に馴らして、ロープで時間をかけて引き運動をすることで、輸送やセリ場に行ってから事故を無くしたいと考えています。



Q4 最近の子牛価格が下落して、販売金額も厳しい状況だと思いますが、利益を確保するため、収入を増やすために、どのような工夫、努力をしていますか？

A4 まだ、見習い中なので、祖父の話をよく聞きながら、牛をよく観察することを心掛けています。

病気で子牛を亡くしたり、発育が悪くなったりしないように、健康状態の観察には注意を払っています。愛情をかけて丁寧に育てています。

特に、子牛がしゃぼを上げていたら、便の状態を見て、調子が良くなさそうな時にはすぐに祖父に伝えて、獣医さんに診療してもらうかどうか相談しています。

獣医さんには、わからないことは何でも聞いて、自分ができることをしっかりやるようにしています。

祖父からは、牛をいつも見ていること、観察も仕事のうちと教わっています。

Q5 牛の管理以外にどんな作業を行っていますか？

A5 粗飼料の生産、調製を祖父に指示をもらいながら、作業をしています。今、飼料価格がとても高くで経営が厳しいので、牧草のほかに、稲WCSの収穫にも力を入れています。自給飼料生産を10町歩ほど作業しましたが、猛暑だったり、突然豪雨に襲われたりで、本当に大変でした。でも、繁殖牛の管理には良質の粗飼料の確保がとても大切なので、一生懸命作業をしています。

Q6 牛飼いをしている中で、何か励みになることはありますか？

A6 繁殖牛を1頭、自分の牛として管理させてもらっているの、どんな雄牛を人工授精して子牛を取ろうとか、雌だったら保留しようとか、考えながら管理するのが楽しいです。

また、子牛の販売金額から歩合で臨時収入がもらえるので、セリ前は、子牛の手入れにも力が入ります。

Q7 休日やオフタイムの過ごし方は？

A7 動物を飼っているの、毎日が仕事だと思っています。月に数回、地元いわきの友人と遊びに出かける際には、祖父に牛の管理の相談をして、段取りを決めてから出かけるようにしています。

夕方の作業を終えてから、友人と街中で会う機会もあり、とても楽しみにしています。

Q8 地域の和牛部会等への関わりは？

A8 現在、祖父が部会長なので、自分はまだ直接参加してはいません。でも、地域の農家の方々からは様々な機会に声をかけていただき、懇親会などにも誘っていただいて、皆さんと交流することができています。

Q9 将来、どのような経営にしていきたいと考えていますか？

A9 親牛を20頭程度増やして、繁殖牛50頭規模の農場

にして行けたら良いと考えています。そして、病気に罹る牛がいない、事故で亡くす牛が1頭もない、衛生的な環境の牧場であるように気を配っていきたいです。

また、血統の勉強もしながら、どんな牛群を作っていくか考えるのも楽しみです。今飼っている雌牛から後継牛を残して、時々良い産地からも導入していきたいと思います。

増頭するには牛舎を増築しなければならないのですが、今のままでは敷地が狭いので、今後いろいろと牛舎建設や土地の確保のことも考えていかなければならないと思います。

Q10 人生設計はどのように考えていますか？

A10 できれば早く、23歳くらいまでに結婚して、夫婦で畜産経営ができれば良いなと思っています。夫婦で力を合わせて良い牛を作って、安定した畜産経営を目指せたら良いです。そうは言っても、まだ相手がいないので、現在、絶賛募集中です（笑）。

（取材を終えて）

農業短大を卒業してすぐに畜産農家として働きだした快斗さんは、祖父の秀幸さんからとても頼りにされていて、学生の頃よりもさらに良い雰囲気を纏った畜産人になりました。

実際に牛飼いを始めると、どうやって良い牛を作るか、そのために牛の健康管理をどうしていくか、餌代等のコストをいかに低減させるか等々、様々なことに気を遣うようになっていっているようで、日々成長している姿に頼もしさを感じました。

インタビューの中で印象的だったことは、祖父の秀幸さんが言ったことに自分の意見を言うのはまだまだ早く、今は全てを吸収しようと思っていると話していたことです。

快斗さんには、これからもたくさん知識やノウハウを吸収し、地元の方々からも可愛がられ、将来渡邊牧場の立派な後継者となってくれることを大いに期待して取材を終えました。



肉用子牛生産者補給金制度発動状況

令和6年度第1四半期（令和6年4月～6月）

（単位：円／頭）

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳 用 種	交 雑 種
保 証 基 準 価 格	564,000	514,000	328,000	164,000	274,000
合 理 化 目 標 価 格	444,000	404,000	258,000	110,000	216,000
平 均 売 買 価 格	541,400	606,100	—	177,500	318,500
補 給 金 単 価	22,600	—	—	—	—

※「その他の肉専用種（日本短角種等）」については、令和2年度より算定期間を1年（4月～3月）としています。

令和6年度第1四半期においては、黒毛和種について、平均売買価格が保証基準価格を下回ったことから生産者補給金（単価：22,600円／頭）が交付されることとなりました。

優良和子牛生産推進緊急支援事業発動状況

令和6年7月23日付け機構より公表された平均価格は以下のとおりです。

今期は、黒毛和種（兵庫県を除く）について、平均価格が発動基準価格を下回ったため、飼養管理向上の取組数に応じて、下記の通り奨励金が交付されます。

福島県においては東北ブロックのため奨励金の発動基準はCとなります。

令和6年4月～6月分

1 発動基準価格及び平均価格

（単位：円／頭）

品種・ブロック名		発動基準価格			平均価格	奨励金発動基準
		A	B	C		
黒毛和種	北海道	600,000	580,000	570,000	593,417	A
	東北				531,601	C
	本州関東以西・四国 （兵庫県を除く）				561,749	C
	兵庫県				870,039	—
	九州・沖縄				536,117	C
褐毛和種		550,000	530,000	520,000	606,100	—
その他の肉専用種		350,000	330,000	—	—	—

2 発動基準ごとの奨励金単価

（単位：円／頭）

品 種	奨 励 金 単 価			
	発動基準	取組数2	取組数3	取組数4以上
黒毛和種	A	10,000	10,000	10,000
	B	10,000	20,000	20,000
	C	10,000	20,000	30,000

注1：黒毛和種の平均価格は、肉用子牛生産者補給金制度の対象となる6ヶ月齢～12ヶ月齢の肉用子牛の指定市場における取引価格を用い、要綱別表1に定めるブロック別、四半期ごとに算出し、全国平均に対して著しく高い価格（偏差値70（平均＋2標準偏差）以上）となる都府県（今回は兵庫県が該当）はブロック別平均価格の計算から除外します。褐毛和種については、全国で、四半期ごとに算出します。

その他の肉専用種については、令和6年4月～令和7年3月までの取引価格を用いて全国平均価格を算出します。

注2：発動基準価格及び平均価格は消費税込みです。

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度） 発動状況

(単位：円)

販売月		肉専用種（東北ブロック福島県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和6年4月	確定単価	59,913.0	0.0	19,021.5
	概算払い単価	53,121.8	0.0	12,178.1
	精算払い単価	6,791.2	0.0	6,843.4
令和6年5月	確定単価	95,248.8	0.0	34,847.1
	概算払い単価	88,458.5	0.0	28,314.2
	精算払い単価	6,790.3	0.0	6,532.9
令和6年6月	確定単価	128,863.8	23,265.9	41,036.4
令和6年7月	暫定単価	100,521.0	38,994.3	49,389.3
	概算払い単価	93,521.0	31,994.3	42,389.3
	精算払い単価	7,000.0	7,000.0	7,000.0

※生産者負担金の猶予対象牛（コロナ対策）については支払い交付単価の3/4の支払となります。

※R4. 7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90 を乗じた額から7,000円を控除した額となります。

令和6年度福島県家畜人工授精師協会定期総会

福島県家畜人工授精師協会

令和6年7月16日、福島市にて役員会、総会が開催され提出議案はすべて承認されました。役員の任期満了に伴い以下の新体制により運営して参ります。

今後も、関係団体のご協力を得ながら福島県の人工授精技術の発展に向けて尽力して参りますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

会 長	浦山 良雄	田村人工授精師会
副会長	斎藤勇一郎	福島家畜人工授精協会
理 事	佐藤 正晴	〃
	宗像 勝彦	郡山家畜人工授精師協会
	佐久間安裕	石川地方家畜人工授精師協会
	吉田 欣也	東白川家畜人工授精師会
	板垣 保	福島県農業共済組合
	樋口 貞行	〃
監 事	増子 文恵	郡山家畜人工授精師協会
	宮本 博史	石川地方家畜人工授精師協会



第37回みつばち慰霊祭開催

福島県養蜂協会

福島県養蜂協会のみつばち慰霊祭は8月5日、会津若松市鶴ヶ城公園内みつばちの杜で開催されました。

昭和63年、全国に先駆け開催された慰霊祭も早38年の時を重ね、慰霊碑建設のため整備された900平方メートルの杜には、栃・アカシアなど約20種類の蜜源樹植物が大きく育ち夏の日差しをやさしくつつんでくれるようになりました。

人間が蜜蜂からいただいているのは、はちみつばかりではありません。ローヤルゼリー、プロポリス、蜜蝋、花粉粒もそうです。さらに、蜜蜂は花粉を運ぶ送粉者（ポリネーター）の一つとして植物の受粉を助け、受粉を必要とする農作物の農産物生産に大きな役割を果たしています。

慰霊祭では、この無数の小さな蜜蜂の御霊に心からの感謝をこめて哀悼の意をささげました。



近藤会長あいさつ



動物と人の間に、いつもゼノアック。



日本全業工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
www.zenoaq.com



御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎(024)3263124 四八八

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
☎(024)553166 六七八

郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
☎(024)945130 六

日本全業工業株式会社
福島営業所

郡山市開成六丁目六七-1
☎(024)954141 一七

株式会社アグロジャパン
南東北営業部(福島)

伊達市梁川町字東塩野川二五-1
☎(024)577131 二二

日新殖産株式会社

本宮市本宮字下台18-12
☎(024)363124 八八

株式会社アスコ

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう』

第37回福島県はちみつ品評会開催

福島県養蜂協会

第37回福島県はちみつ品評会が8月27日に福島市の福島県土地改良会館で開催され、最高賞である農林水産大臣賞に、昨年に引き続き池澤洋一氏のアカシア蜜が選ばれました。

はちみつ品評会は養蜂家の採蜜技術の向上とはちみつの品質向上、県養蜂の振興を図ることを目的に毎年開催され、今年も37会員から104本のはちみつが出品されました。

事前に糖度を測定した出品蜜を、福島県畜産課横田真良課長を審査長とする審査員7名が風味と色沢の審査を行い、トチ蜜、アカシア蜜、その他蜜の3区分から13賞が選ばれました。(別表のとおり)

農林水産大臣賞をはじめ上位入賞したはちみつは色沢・風味に優れており、惜しくも入賞を逃したはちみつも例年と変わらず高い品質を保っていました。

出品されたはちみつは9月6日、7日に開催された農業総

合センターまつりで販売され、予想を上回る反響のため1日目から品薄となり、2日間で完売するほど大好評でした。

福島県養蜂協会では、今後も様々なイベント等を通じて「養蜂県ふくしま」を象徴する県産はちみつの魅力を発信していきます。



審査の様子

(敬称略)

賞 区 分	花 名	氏 名	市 町 村
農 林 水 産 大 臣 賞	アカシア	池 澤 洋 一	白 河 市
福 島 県 知 事 賞	ト チ	時 任 真由美	三 島 町
福 島 県 議 会 議 長 賞	ト チ	佐 藤 一 幸	猪 苗 代 町
福 島 県 議 会 議 長 賞	アカシア	先 崎 重 定	平 田 村
日 本 養 蜂 協 会 長 賞	アカシア	鈴 木 賢 昭	磐 梯 町
日 本 養 蜂 協 会 長 賞	ト チ	平 野 公 樹	檜 枝 岐 村
日 本 養 蜂 協 会 長 賞	リンゴ	鈴 木 正 則	福 島 市
福 島 テ レ ビ 社 長 賞	アカシア	円 谷 富 衛	鏡 石 町
福島県畜産振興協会会長賞	ト チ	三 浦 豊 一	喜 多 方 市
福島県畜産振興協会会長賞	桜	安 藤 利 雄	い わ き 市
福島県養蜂協会会長賞	ト チ	山 田 雄 一	下 郷 町
福島県養蜂協会会長賞	アカシア	今 泉 清	郡 山 市
福島県養蜂協会会長賞	柿	近 藤 義 孝	会 津 若 松 市

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地(福島県畜産振興協会内)

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容・健康に
おいしく
はちみつは
いかが！

家畜取引状況報告

令和6年7～8月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
7	雌	334	884,400	143,000	468,127	295	1,588	290	151	177
	雄									
	去勢	402	911,900	88,000	548,763	326	1,683	284	213	188
	計	736	911,900	88,000	512,482	312	1,643	286	364	365
8	雌	288	752,400	88,000	446,818	294	1,518	291	136	147
	雄									
	去勢	356	1,004,300	190,300	585,973	323	1,817	287	171	182
	計	644	1,004,300	88,000	524,053	310	1,690	289	307	329

令和6年7～8月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

(税込み)

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最高	最低	平均
7月 第345回	ホル雄	28	210,100	11,000	170,657
	ホルフリー				
	F ₁ 雌	30	272,800	27,500	201,850
	F ₁ 雄	36	255,200	88,000	224,003
	和牛雌	22	386,100	191,400	271,700
	和牛雄	48	515,900	205,700	343,036
	和牛去勢				
8月 第346回	ホル雄	37	80,300	1,100	44,947
	ホルフリー	1	1,100	1,100	1,100
	F ₁ 雌	37	216,700	1,100	125,935
	F ₁ 雄	45	204,600	1,100	120,536
	和牛雌	31	346,500	27,500	266,058
	和牛雄	40	489,500	84,700	305,321
	和牛去勢				
	計・平均	191	489,500	1,100	168,562

令和6年7～8月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
7	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	4	254,100	239,800	246,675	2,780	89
	E T 和雄	6	492,800	161,700	283,800	3,102	92
	乳雌牛						
	乳雄牛	10	137,500	45,100	98,670	1,318	75
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	32	225,500	15,400	169,641	2,350	72
	F ₁ 雄(スモール)	24	242,000	24,200	202,629	2,621	77
	計・平均	76	492,800	15,400	183,787	2,401	77
8	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	8	309,100	249,700	277,043	2,631	105
	E T 和雄	3	347,600	287,100	320,834	2,581	124
	乳雌牛	1	11,000	11,000	11,000	200	55
	乳雄牛	17	33,000	1,100	17,394	235	74
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	32	198,000	22,000	111,032	1,495	74
	F ₁ 雄(スモール)	27	212,300	31,900	121,978	1,586	77
	計・平均	88	347,600	1,100	116,716	1,476	79

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目3番地

Tel 024-573-0515

Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(10月)

日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
ニュートラック 福島	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	水	火	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金							

(11月)

日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
日曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
ニュートラック福島	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡	盛岡
オープス磐梯	大井																													

※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。



JRAはJ-PLACE発売日（発売レースは後半4レース）

地方競馬全国協会